

ごみ有料化等検討委員会 委員からの質問等

No	質問内容(一部編集)・順不同	回答者・時期			回答(回答者による;MAは浅利) 【PPT】は別途PPTでの説明あり
		市	浅利	三木先生	
1	ごみ問題・ごみ処理全般について知りたい点				
1	地域ごとに出るごみの量を知りたい	5月			データはありませんが、収集車単位でのごみの重量データは作成可能です。
2	剪定ごみは、市のごみとして出しているか	5月			住民自らが剪定した剪定ごみは、燃えるごみの日に出していただくか又は清掃リレーセンターに持ち込めば処理します。
3	リサイクルセンターの運営について	5月			現在、リサイクルセンターは運営していませんが、今後、清掃リレーセンターの有効活用を検討するにあたり、リサイクルセンターとしての機能も検討いたします。
4	事業系ごみの指導は徹底できているか	5月			現時点では、指導できていると言いきれませんが、本年10月の指定袋制導入に合わせて指導を徹底します。
5	日本に世界の9割程の焼却炉があるのか。他国では1~2の焼却炉しかないのか。他国はほとんど埋めているのか		5月		焼却炉の約8割が日本にあると言われていません。他国は埋め立てが一般的です。【PPT】
6	木・竹類をチップ化して肥料化する施設の設置は検討しているか。していないなら何故か	5月	5月		木や竹のチップ化は、チップ化する際に発生する騒音と、広大なストックヤードが必要となるため、適当な場所が見当たらないのが現状
7	生ごみリサイクル施設の設置は検討しているか。していないなら何故か	5月	5月(関連情報)		生ごみについては、現在、一部の事業所を対象に、し尿処理施設でリサイクルを行っているが、一般家庭を対象に実施するには、生ごみの回収手法の検討と合わせてリサイクル施設を考える必要がある。
8	脱焼却と脱埋立を目標としたとされる次の各地の取り組みの長所・短所等を知りたい(Calif., Canberra, Halifax(N.S.), New Zealand)		5-6月		(MA:ご指定頂いた海外都市のレビューはできていませんが、上勝町のゼロウェイスト宣言は参考になるかと思えます)【PPT】
9	EPR(Extended Producer Responsibility)等、欧米がお手本になるのかなどの印象が強いですが、逆に日本から欧米にはどの様なものが英語で発信されているか		5月	(6月)	実は「3R」という言葉は、日本が世界に発信している言葉です。また、日本のリサイクルに関する評価は非常に高いです。【PPT】
10	スーパーでのトレイ・ペットボトルの回収は役に立っているか。ごみとして回収した場合とどちらが経済的でしょうか		5月	(6月)	スーパーでのトレイ・ペットボトル回収は、いくつかの視点から役に立っていると思います。ただし、単純に経済的な比較をすると…【PPT】

11	可燃性家庭系ごみの量面での把握が必要。家庭系ごみに関する量やその性状別内訳につき、発生から焼却に至る現状実績と、10年後の予想を提示して欲しい	5月			(10年後の予想についてはごみ半減化プランで示しており、本プランは5月中に策定されるため、6月に併せて提示します。)
12	可燃性家庭系ごみのコスト面での把握が必要。現状下における委託業者決定方式、委託業者への支払い制度、業者に対する市当局の指導管理体制、市当局のコスト削減努力等の実態の公表が必要であるまた、市の会計制度(減価償却方法等)を勉強し、コストの折り込み額の把握が必要である。これらに関する情報の公開と説明をお願いしたい。家庭系ごみだけに絞ったコストは明示できるか。(過去に提示した資料からの疑問点と質問事項等が他にあり)	6月			MA:コスト試算とも関連するごみ量内訳・フローについても、把握に努めて頂いています。(場合によっては、個別確認をお願いするかもしれません)
2 ごみ有料化について知りたい点					★有料化については、主に次回
◆ごみ有料化について					
13	ごみの減量化は有料化しないと効率的に実現できないという認識を払拭し、意識改革することが先決である。				MA:どれも今後の議論に重要な質問とと思います。詳しくは次回に回しますが、 ・「ごみ有料化」への固定概念を一度なくして考えること ・市民の意識や行動の実態を冷静に分析することも重要と考えます。  ※ごみ減量は、市民の理解・協力が必須というのは、その通り。【PPT】
14	負担の公平化と意識の高揚が有料化の目的とされるが、意識の高揚化に関しては、市民は痛い目(有料化)にあわせないとしないという市民に対する不信感＝市民を愚弄したものである。負担の公平化に関しては、市民に不公平感を煽り立てる様な印象を受ける		6月		
15	ごみ収集等の経費は、市民に対する二重課税であり、許すことはできない				
16	ごみの減量化問題は、市民の理解と協力なくしては解決できないと確信している				
◆生駒市のごみ有料化について					
17	ごみの種類の中で、どの種類のごみを対象に有料化するのか		5-6月		MA:今後の議論の論点の一つと思っています。必要に応じて、他都市の事例をご紹介します。
18	有料の課金方法は		5-6月		MA:大きく分けて従量制と定額制がありますが、基本前者と考えられます。その中にもいくつかのやり方があります。
19	大型ごみが有料の対象となれば、自転車やストーブなどに範囲を広げるのか		5-6月		MA:今後の議論の論点の一つと思っています。
20	有料化の最終的な決着は、議会で決定されるのか。	5-6月			MA:今後のプロセス(パブコメ含む)は事務局よりご説明いただきます。
21	有料化の利点は何か			6月	

22	有料化をする前に、行政としてしていない、あるいはやり残していることには、どのようなものがあるか	6月	MA: 減量のためにできる他の施策は色々あると思いますが、並べて比較できない側面もあります。
◆有料化を実施している市町村について			
23	実施して良かった点、悪かった点	6月	
24	ごみ有料化でごみの減量できた成功事例と失敗事例	6月	
25	ごみ有料化をしている自治体名一覧	6月	MA: 全国の約6割の市が有料化を行っています。
26	有料化された先行自治体の有料化に至るまでの経緯。取り組み例	6月	
27	どのような方法で費用を課しているか	6月	
28	市民に対する大義名分は何か	6月	
29	市民のメリットは何か	6月	
30	実施前と実施後の収集方法・内容等で変わったことはあるか	6月	
31	不法投棄の対策はどのようにしているか	6月	
32	有料化による収入金額及びその使い道は何か	6月	
33	資源ごみ、大型ごみ、持ち込みごみは有料か	6月	
34	有料化以外の方法で劇的にごみが減ったという方法の他の市の事例はあるか	6月	MA: 上勝町のゼロウェイスト宣言が有名です。 【PPT】
3 そのほか			
35	議題を提起して、意見の出しやすい会議の進め方をしてほしい(個人的意見に終始している)	5月	進行が悪く申し訳ありません。発言時間を管理する、個別説明を行うなどの対応を考えたいと思います。
36	リサイクルを含めて、ごみからの商品化を図ってはどうか	5月	現在の缶・びん・PETやプラスチック製容器包装は、基本的にその考え方に基きますが、出口(商品の売り先)などを考えることが重要です。
37	ごみを有料化せずに、資源として有効利用できるような知恵を出し合えればと思う	5月	上記とも関連して、現状では、リサイクルするほど高くつくというようなものも多くなっています。
38	浅利先生の著書等を希望者に回覧すればどうか。また、「ごみ分別の異常な世界」の内容に関する見解等も委員会で発表してほしい	5月	基本的には、貴重な時間ですので、別途ご紹介の機会があればと思います。

39	当該委員会での検討目的と内容の確認が必要である。委員会は(財政目的でなく)(可燃性)家庭系ごみの焼却量を、21年度実績に対し10年後に半減する方策を検討すること(有料化は白紙状態で臨む)と理解しているが、念のため、委員会としてのコンセンサス作りをお願いしたい。また、当該委員会の名称は不適切であり、たとえば「家庭ごみの焼却量半減化検討委員会」等に変更すべきである。				
40	委員間で、住所・電話番号・メールアドレス等の公表をすることの可否を検討をし、委員間で了解を得た上で、市当局に公表を指示して欲しい		5月		これについては、個人情報の問題も含まれますので、基本的には個人間で行うということでしょうか？
41	当委員会では市民の軸に立った議論がなされるべきであつて、市民の意見も聞いたという市の体裁作りのための議論であってはならない		5月		当然のことと思います。